

高知県と愛媛県で採集されたケフサヒライソモドキ (カニ下目モクズガニ科)

山本藍子・町田吉彦

Record of a brackish water crab *Ptychognathus barbatus* from Kochi and Ehime Prefectures,
southern Japan (Brachyura: Varunidae)

YAMAMOTO Aiko and MACHIDA Yoshihiko

Abstract The occurrence of a brackish water crab *Ptychognathus barbatus* from Kochi and Ehime Prefectures, southern Japan, are reported. A 8.8mm carapace width male from the Mashino River (32°47'19"N, 132°53'31"E) in Tosashimizu City represents the second record of this species from Kochi Prefecture. This species is recorded for the first time from Ehime Prefecture on the basis of a 10.1mm carapace width female from the Kunomura River (33°12'35"N, 132°33'24"E) in Uwajima City.

Key words: brackish water crab, *Ptychognathus barbatus*, Varunidae, new record, Kochi Prefecture, Ehime Prefecture, southern Japan.

モクズガニ科のケフサヒライソモドキ *Ptychognathus barbatus* (A. Milne Edwards) は内湾や河口の転石下に生息する小型種である。本種は、国内では奄美大島、与論島、石垣島、八丈島などから知られていた(和田, 1995)。近年, 野元・和田(2000)は, 高知県春野町の甲殿川で2個体を採集したが, これが九州以北の初記録である。さらに, 野元(2004)は和歌山県串本町の田並川産の1個体に基づき本種の本州初記録を報告した。村岡(1998)によれば, 酒井恒博士が高知県土佐清水市と土佐湾で採集したそれぞれ1個体が神奈川県立生命の星・地球博物館に保管されている。しかしながら, 土佐清水産の個体の詳細な産地と採集年月日は不明であり, また, 土佐湾産の個体

は1967年に採集されたものの, 産地の詳細は不明である(村岡, 1998)。このように, 四国における本種の情報はきわめて少ない。

著者らが実施している南四国の感潮域ならびに内湾の潮間帯に生息する短尾類の調査で, 土佐清水市と愛媛県宇和島市で本種の標本がそれぞれ1個体採集された(Fig. 1)。これらは南四国における本種の動物地理学上の貴重な発見と考えられるので, 以下に報告する。

土佐清水産の標本は礫の下から素手で採集された。宇和島市産の標本は, 川底の礫をかき混ぜ, 流下物を小型の網で受け取ることにより採集された。標本は四国自然史科学研究センター甲殻類標本(SINH-CR)として保管されている。

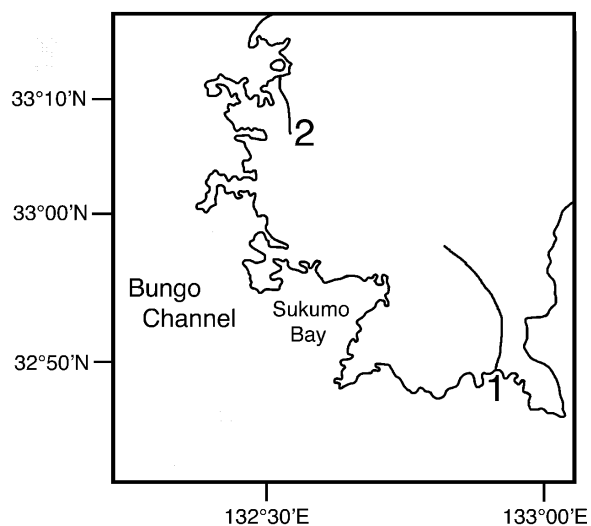


Fig. 1. Locality of *Ptychognathus barbatus*. 1: Mashino River in Tosashimizu City, Kochi Prefecture; 2: Kunomura River in Uwajima City, Ehime Prefecture.

Ptychognathus barbatus (A. Milne Edwards, 1873)
ケフサイソガニ
(Fig. 2)

調査標本 (2 個体) : SINH-CR 3358, ♂, 甲幅 8.8mm, 甲長 7.8mm, 高知県土佐清水市益野川,

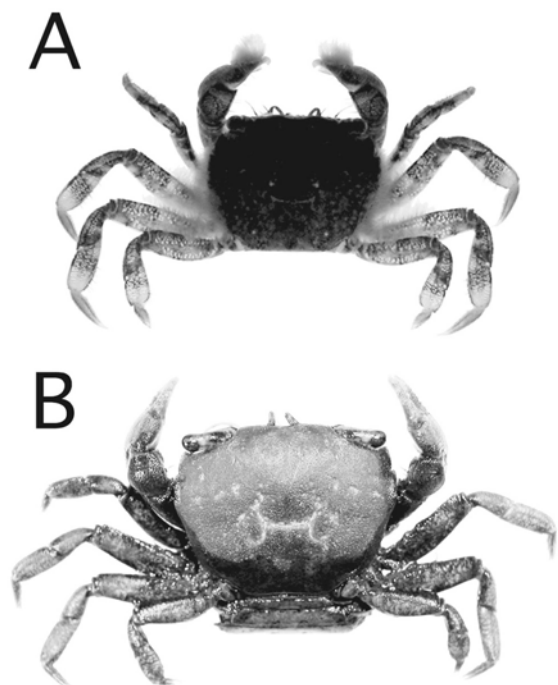


Fig. 2. *Ptychognathus barbatus*. A: SINH-CR 3358, male, 8.8mm carapace width, from Mashino River; B: SINH-CR 3853, female, 10.1mm carapace width, from Kunomura River.

河口から約100m上流 (32°47'19"N, 132°53'31"E), 2005年8月23日; SINH-CR 3853, 抱卵♀, 甲幅10.1mm, 甲長7.8mm, 愛媛県宇和島市来村川, 河口から約500m上流 (33°12'35"N, 132°33'24"E), 2006年8月22日.

記載: 甲は平坦で, 無毛. 額の中央部はわずかに凹む. 前側縁はゆるく張り出し, 眼後歯を除いて2歯を備えるが, 後方の歯は不顕著. 雄の鉗脚の両指の基部には軟毛の束があるが, 雌はこれを欠く. 前側縁の側面, 鉗脚と歩脚の長節の前縁の体側側に軟毛が密生する. 歩脚の長節前縁に棘がない. 外顎脚の座節と長節は横の線で接し, 外顎脚の外肢は座節より幅が広い.

備考: 本調査標本は酒井(1976), 和田(1995), 三宅(1998), 野元・和田(2000), 野元(2004)のケフサイソガニの記載とほぼ一致する.

益野川は足摺岬の西方に位置する流程16kmの小規模河川である. 河口の右岸に小集落があるが, これより上流の集落は約1.2km離れており, この間, 河川は田園地帯を流れる. 標本は河口部の左岸で, 干潮時の礫の下から採集された. 本種と同時に礫の下から採集された短尾類は, ヒメアカイソガニ *Acmaeopleura parvula*, タイワンヒライソガニ *Ptychognathus ishii*, ヒメヒライソガニ *Ptychognathus capillidigitatus*, ヒライソガニ *Gaetice depressus*, ケフサイソガニ *Hemigrapsus penicillatus* である.

来村川は流程約9kmの小規模河川で, 下流域の約2kmは市街地を流れる. 本種と同時に礫の下から採集された短尾類は, タイワンヒライソガニとケフサイソガニである.

野元・和田(2000)は, 高知県春野町を流れ, 土佐湾に流入する甲殿川で本種を得ており, 同時に採集された種としてタイワンヒライソガニ, ケフサイソガニ, ハシリイワガニモドキ *Metopograpsus thukuhar* を上げている. この地点は著者らの甲殿川の調査地点とほぼ一致し, タイワンヒライソガニとヒメヒライソガニが確認されている(山本ほか, 2006a). 同様の地点で, 著者ら(未発表)はケフサイソガニとヒメアカイソガニを確認しているが, ハシリイワガニモドキは確認されていない. 本種の本州初記録となった和歌山県串本町の田並川では, ケフサイソガニ, タイワンヒライソガニ, ヒメヒライソガニが確認されている(野元, 2004).

山本ほか(2006a)は高知県全域の河川の感潮域と内湾の潮間帯の短尾類を調査したが、その調査地点数は高知市浦戸湾で12地点、土佐市と須崎市にまたがる浦ノ内湾で13地点、これら以外は56地点であった。また、山本ほか(2006b)は徳島県南部の4河川の感潮域と内湾1地点の潮間帯の短尾類を調査している。山本ほか(2006a,2006b)の調査地点で本種が確認されたのは野元・和田(2000)による甲殿川と、本研究における益野川にすぎない。愛媛県側の渭南海岸では、山本ほか(2007)により、9河川の干潮域と内湾の干潟で短尾類の調査が実施された。しかしながら、本種が確認されたのは来村川のみである。高知県と愛媛県で本種と同時に確認されたケフサイソガニ、タイワンヒライソモドキ、ヒメヒライソモドキはごく普通種である。このことから、本種の産地と個体数がきわめて少ないのは明らかであるが、野元・和田(2000)と野元(2004)にみられるように、本種の出現記録は着実に北上している可能性が考えられ、南四国においても本種の今後の動向に注目する必要があると考えられる。

謝 辞

愛媛県内での調査に協力いただいた平松 亘氏(宇和島市)、水野晃秀氏(宇和島水産高校)、高知大学理学部海洋生物学研究室の片山英里さんに厚く御礼申し上げます。なお、本研究は山本が受領した公益信託ミキモト海洋生態研究助成基金による成果の一部である。

引用文献

- 三宅貞祥.1998.原色日本大型甲殻類図鑑(Ⅱ).3刷,保育社,大阪,vii+277pp.
- 村岡健作.1998.酒井恒博士寄贈カニ類標本目録.神奈川県立博物館資料目録(自然科学),(11):5-67.
- 野元彰人.2004.和歌山県串本町で採集された本州初記録のケフサヒライソモドキ(モクズガニ科).南紀生物,46:159-160.
- 野元彰人・和田恵次.2000.高知県甲殿川で採集されたケフサヒライソモドキ(イワガニ科).南紀生物,42:53-54.
- 酒井 恒.1976.日本産蟹類.3巻,461pp.(日本語版),773pp.(英語版),251pp.(図版),講談社,東京.
- 和田恵次.1995.短尾下目.(西村三郎,編著:原色日本海岸動物図鑑Ⅱ,pp.379-418.保育社,東京.)
- 山本藍子・町田吉彦・佐藤友康.2006a.高知県の干潟環境におけるタイワンヒライソモドキとヒメヒライソモドキの分布(カニ下目モクズガニ科).四国自然史科学研究,(3):1-8.
- 山本藍子・佐藤友康・町田吉彦.2006b.徳島県南部の感潮域と内湾のカニ類(Ⅰ).四国自然史科学研究,(3):15-22.

(原稿受理 2007年3月31日)